



# 朝青龍が引退

## 暴行問題 協会に届け出

大相撲の横綱朝青龍関(29)＝本名ドルゴルスレン・ダグワドルジ、モンゴル・ウランバートル市出身、高砂部屋＝が泥酔して知人男性に暴行したとされる問題で、朝青龍関は4日、日本相撲協会の理事会から事情聴取を受けた後、「引退しました。お世話になりました」と話し、引退を表明した。師匠の高砂親方(元大関朝潮)は協会に引退届を提出した。横綱が不祥事をきっかけに現役を退くのは、1949年に休場中に野球観戦をした前田山や、87年12月に失跡騒ぎを起こした双羽黒の例がある。

問題は初場所中の1月16日早朝に東京都内の路上で発生し、22日発売の週刊誌で発覚。高砂親方は当初、報道陣に「暴行した相手は、朝青龍の個人マネージャーだ」と説明。朝青龍関とともに日本相撲協会の武蔵川理事長(元横綱三重ノ海)に謝罪し、嚴重注意された。しかし、実際の相手は、角界関係者でない横綱の知人男性と発



日本相撲協会の理事会で事情聴取を受けるため、国技館に姿を見せた朝青龍(左)と高砂親方。4日午後1時11分、東京都墨田区、細川卓撮影

覚。協会は2月1日に調査委を発足させ、朝青龍関の個人マネージャーと運転手から事情を聴いた。調査委委員長の友綱親方(元関脇魁輝)は「(2人の聴取内容から)暴行の事実は確認できなかった」としたが、この日の理事会で朝青龍関本人と高砂親方が呼ばれ事情聴取されていた。